

1 国語について

全国と松山市の調査結果を比較すると、平均正答率は、ほぼ同じ状況でした。

学習指導要領に示されている「知識及び理解」の領域は全国平均とほぼ同じ状況であり、「思考力、判断力、表現力等」の「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の領域もほぼ同じ状況でした。

2 分析結果から特徴が見られた問題

1 ア おっしゃった
2 ア 申した
3 ア おっしゃった
4 ア 申した

イ うかがって
イ お聞きになって
イ うかがって

【谷さんのノートの一部】

聞きがしたことを相手に確かめるとき
○谷さんが ア ことを、もう一度 イ いいですか。

【川村さんの文章】

学校の田んぼで取り組んだ米作りの問題点とその解決方法

今年の米作りでは、たくさんのお米をしょうかくすることができました。しょうかくまでに、いくつかの問題がありました。その中でも特に伝えたい問題点とその解決方法について説明します。

5月下旬に学校の田んぼになえを植えました。6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを続けたのですが、いがい雑草が生えてきて、とてもこまらなりました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼとくらべてみました。つきかんは7月1日から15日までです。

右のグラフは、その結果をもとにして作ったものです。

農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量
(単位) 100本あたり
■ 農家の田んぼの雑草の量
■ 学校の田んぼの雑草の量
①0本あたりの雑草を数えて同じ大きさのグラフに入れ、その雑草量を縦軸の量とする。

このようなことに取り組み、9月の下旬にお米をしょうかくすることができました。

【川村さんの考え】

川村さんは、「学校の田んぼで取り組んだ米作りについて文章を書くことになっています。次の問いに答えましょう。」

【カード①】

6月24日
・思ったより学校の田んぼに雑草が生えてきた。
・このまま雑草が増えたら米のしょうかくにいきようするのではないかと心配だ。

【カード②】

6月30日
・雑草取りをしているが、農家の田んぼには見られないほど、雑草の量が増えてきた。
・どれくらい増えているのか雑草の量を調べる。
・調査方法 週に1回、農家の田んぼと学校の田んぼの雑草を数えて、量をくらべる。
・調査日 7月1日～15日

【カード③】

7月19日
・学校の田んぼでは、雑草の量に対して雑草取りが追いついていないと考えられる。
・雑草の量と米のしょうかくの間隔について農家の石山さんに話を聞きに行く。

【カード④】

7月20日
【農家の石山さんのお話】
・雑草に栄養をとられると、米のしょうかくが減る。
・雑草が多いと、いねが病気になることがある。
・農家は、さまざまな方法で雑草が生えないようにしている。

【カード⑤】

7月21日
【学校でできる解決方法】
・雑草取りの回数を増やす。
・雑草取りの人数を増やす。

1-2 正答例

グラフから分かるように、学校の田んぼでは雑草が増え続けていたため、雑草に栄養をとられてしょうかくが減ってしまうかもしれないという問題点がありました。そこで、雑草取りの回数と人数を増やすことにしました。

(100字)
 全国の正答率 26.7%
 松山市の正答率 全国の正答率とほぼ同じ

3-1 正答 1

全国の正答率 57.6%
 松山市の正答率 全国の正答率とほぼ同じ

3 考察

1-2は、図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる問題です。ここでは、【河村さんの文章】のグラフと【カード④】のそれぞれから分かる学校の米作りの問題点と、【カード⑤】を基にした問題点の解決方法を指定の文字数で書くことが求められます。無解答率は全国平均を下回るものの、解決方法のみを記述し、その問題点についてグラフなどから読み取ることができなかつたと考えられる児童の割合が全国平均よりも上回りました。

3-1は、日常よく使われる敬語を理解しているかどうかをみる問題です。尊敬語と謙譲語について理解していることが求められます。3の「お聞きになって」と解答した児童の割合が全国平均より高く、「言う」などの尊敬語である「おっしゃる」については理解しているが、「聞く」などの謙譲語である「うかがう」については理解していない児童が多いと考えられます。

4 これからの学習にあたって

自分の考えが伝わるように文章を書くには、図表やグラフなどを用いるなどして書き表し方を工夫することが大切です。観察や実験、調査の結果などを記述する際には、図表やグラフを用いることで、自分の考えを深めるとともに、相手にとってよく理解できるものになります。

敬語を使う場合は、尊敬語や謙譲語などの役割や必要性を自覚し、相手と自分との関係を意識しながら、相手や場面に応じて適切に使うことが大切です。